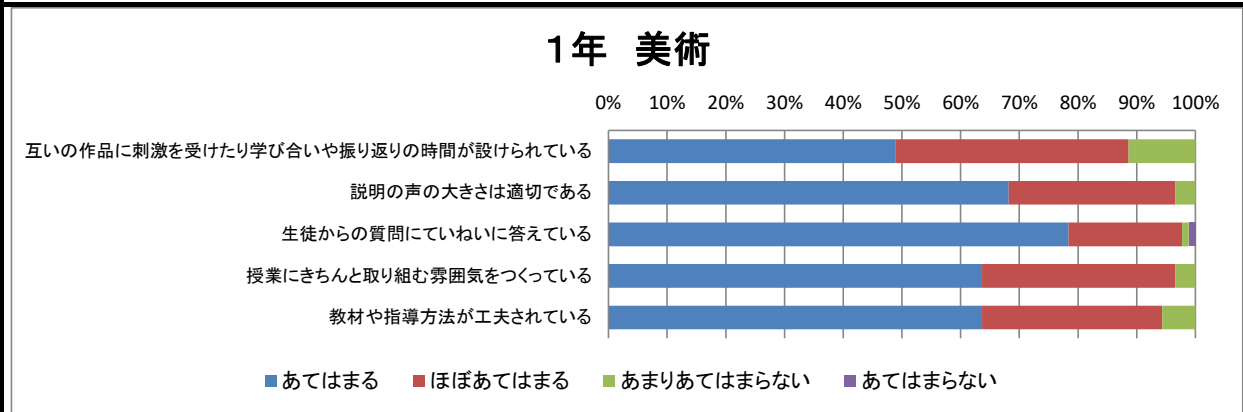


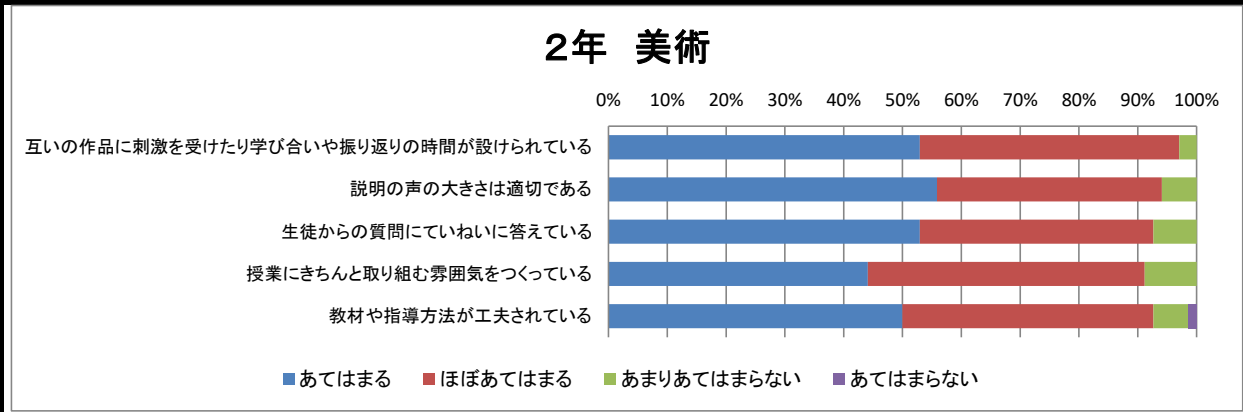
令和元年度 第2学期 生徒授業評価アンケートより

教科	美術	重点目標
		<ul style="list-style-type: none"> ・感性や想像力を働かせた、独創的で豊かな発想を育む。 ・創造的なよさや美しさを感じとり味わう(鑑賞する力)を高める。

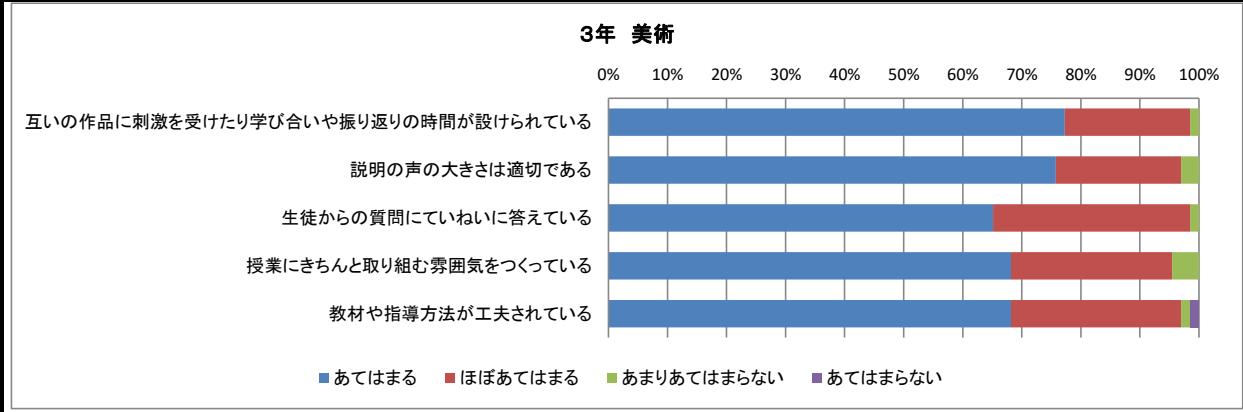
学習指導に関する現状と課題(二学期・生徒による授業評価アンケートより)



分析 全体的には1学期よりもあてはまるが増えたので、授業を通して互いの関係性が育まれてきたと感じる。学びあいや振り返りの時間については、2学期は多くの時間を作品制作に費やしたため、生徒の実感としては低かったと思われる。毎時間の振り返りとして自己計画表を記入しているので、3学期もそれを続ける。また、2学期に制作した作品を用いてグループ鑑賞会を行う予定である。



分析 教材の工夫については初の試みとして革工芸を取り入れた。授業で組み込むのは初めてだったため、2年生と共に作り上げた授業である。試行錯誤しつつであったので今後の工夫につなげたい。授業にきちんと取り組む雰囲気の項目で、あてはまるが50%を割ってしまった原因として、進度に応じて場所を移動する自由度が高くなったからと考えられるので、全体の授業に向かう姿勢の意識を持たせるように務める。



分析 3年生は制作を楽しみ、グループワークや話し合いもスムーズに行うことができるので、美術を愛好し自然に互いの作品に刺激を受けながら学びあいができている。1学期に比べて全項目であてはまるが10~20%上がっている。3年間で良い雰囲気や授業に取り組む姿勢が育まれてきたと感じる。1時間1時間を大切に卒業制作を丁寧に進めていきたい。